

(専門基礎分野)

授業科目	疾病と治療 I	講師	整形外科医師 外科医師	実務経験	単位数
			消化器医師 理学療法士		
学習目標	1.運動機能の障害とその治療について理解する。 2.消化機能の障害と治療について理解する。				時間数
					30
					学年
					1
					時期
					第1~2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1~5	運動機能の障害とその治療	1.活動や行動の妨げとなる主な症状 1)麻痺、しびれ、炎症、捻挫 2.運動器系の主な検査 1)関節鏡、XP、CT、MRI、ミエログラフィー 3.運動器系の主な治療 1)手術療法、牽引療法、ギプス固定リハビリテーション、薬物療法 4.姿勢・運動にかかわる骨・関節・筋肉の疾患と治療 1)先天性疾患 2)関節疾患 3)骨粗鬆症 4)骨折 5)脱臼 6)神経の損傷 7)脊椎疾患 8)骨腫瘍 5.活動や行動が制限されることにより発生する弊害と治療 1)関節拘縮、変形 2)筋力低下		講義	整形外科医師
6~7	運動機能の治療	1.残存機能リハビリテーション 1)理学療法 2)作業療法		講義	理学療法士
8~11	消化管機能障害と治療・乳がん	1.消化管の炎症と治療 1)胃炎 2)腸炎 3)腹膜炎 4)虫垂炎 2.消化管の腫瘍 1)食道がん 2)胃がん 3)結腸・直腸がん 3.ヘルニア 4.イレウス 5.乳がん		講義	外科医師
12	肝臓・胆嚢・膵臓の炎症と治療	1.肝炎 2.胆嚢炎・胆道炎 3.膵炎			

13～14	肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍と治療	1.肝臓がん 2.胆嚢がん・胆管がん 3.膵臓がん 4.胆汁代謝・排泄の障害と治療 1)胆石症、総胆管結石	講義	消化器 医師
15	評価	筆記試験		
評価 方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 リハビリテーション看護 臨床外科看護各論 成人看護学[5]消化器 成人看護学[9]女性生殖器 成人看護学[10]運動器	